

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	キャップハンディ指導者養成派遣事業			事業番号	011-125
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害施策推進課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③障害者の社会参加の促進		
			有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう	ターゲット	10.2
		寄与するKPI	有	取組	障害者児及びその家族に対する支援		
			有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	第4次障害者長期計画					
3	事業開始年度	平成 9 年度	終了(予定)年度	令和 3 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (略称・障害者総合支援法)					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市内在住、在学または在勤で小学3年生以上 (約778,000人)				
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	障害のない方が視覚・聴覚・上肢・下肢それぞれに「障害のある状態」を疑似体験し、障害を持つ方の身体状況や気持ちの一端を理解する「気づき」を促す。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	市内の小中学校やグループ、市内で開催されるイベント等において、視覚障害・下肢障害・上肢障害・聴覚障害の疑似体験を実施する指導者ボランティアを育成し、派遣する。 1. 指導者ボランティアの派遣 1回10人、年間20回以上派遣する。 2. 指導者ボランティアの研修・育成 指導者ボランティアの指導技術の維持向上を目的とした研修会を年間3回開催する。 3. 体験用備品の貸出 市内の小中学校、自治会や企業向けに、福祉学習や研修支援のため、体験備品 (車いす、白杖等) の貸出を行う。				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	社会福祉法人 堺市社会福祉協議会				
10	公民連携・協働事業					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 終了(予定)年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度
11 体験者数	人	目標値	4,500	3,000	1,500	1,500
		実績値	2,678	1,016		
		達成率	60%	34%		
当該指標を選定した理由		障害理解啓発を促進するため、体験者数を目標とする。				
目標値の設定根拠・算出方法		派遣回数20回×参加人数75名 (派遣回数目標減に伴い、体験者数目標値も減とする。)				
12 派遣回数	回		実績		目標	
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	60	40	20	
		実績値	46	19		
	達成率	77%	48%			
当該指標を選定した理由		障害理解啓発を促進するため、仕様に定める派遣回数を目標とする。				
目標値の設定根拠・算出方法		月2回×10か月 (実績に合わせ委託料減額に伴い、派遣回数目標値も減とする。)				

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	キャップハンディ指導者養成派遣事業	事業番号	011-125
-------	-------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	4,689	4,465	3,837	3,837	2,545
13 財源内訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	4,689	4,465	3,837	3,837	2,545
14 人件費 (b)	820	810	820	820	820
15 年間経費(c)=(a)+(b)	5,509	5,275	4,657	4,657	3,365

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
	R3 予算	2,545	2,545		R3 予算		
	R2 決算				R2 決算		
	R3 予算				R3 予算		
	R2 決算				R2 決算		
	R3 予算				R3 予算		
	R2 決算				R2 決算		
	R3 予算				R3 予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 派遣回数	回	46	19
② 上記①にかかる年間経費	千円	5,275	4,657
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	114,674	245,105
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により予定していた派遣が11件中止になるなど、前年と比較し、大きく派遣回数が下がり、派遣回数に対する単位当たりの経費が増加する要因となった。</p> <p>令和4年度より、障害福祉の拠点施設である健康福祉プラザ指定管理業務へ移管することで、健康福祉プラザの持つ障害者支援にかかるノウハウを生かし、事業を行う。</p>
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>キャップハンディ事業の実施により、市内の小中学校やグループ、市内で開催されるイベント等において障害理解啓発を行うことで、事業に参加した方の障害への理解を深めることができ、障害のある方が社会参加しやすい社会となることにつながり、堺市基本計画2025及びSDGs未来都市計画に掲げる取組の方向性に対して寄与した。</p> <p>また、令和4年度より健康福祉プラザ指定管理業務へ移管することにより、現在すでに健康福祉プラザにおいて行っている障害者理解啓発（講演形式中心）に、体験型のキャップハンディを加えることで、これまでの障害者支援にかかるノウハウを生かすことにもなり、相乗効果がみこまれる。</p>
----	---